

# 据置台設置工事説明書

## 工事される方へのお願い

型式

WOP-F201(2)SS WOP-F201(2)SS-650

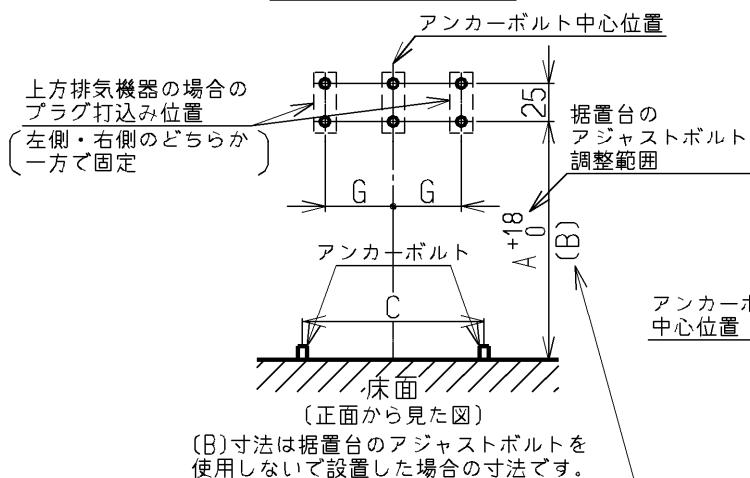
- 本品を指定する機器にご使用ください。
- 作業時はけが防止のため、手袋などをして行ってください。
- 機器を正しく安全に使用していただくために、この設置工事説明書をよくお読みになり、正しく取り付けてください。
- 裏面の【取付方法】に従って、木ねじ2個とプラグ2個を使用して必ず壁面に固定してください。なお、平成25年4月施行の建築基準法改正に準拠するため、木ねじやプラグは必ず付属のものを使用してください。  
RCやALCなどの壁面に固定する場合、プラグを打ち込む下穴径はφ6mmで深さ40mm以上にしてください。  
木下地の壁面に固定する場合は、木ねじの有効打ち込み長さが15mm以上となるように壁面に固定してください。

## 梱包部品一覧

品番	部品名	個数	品番	部品名	個数
1	据置台本体	1	6	④トラスFTねじ(M4X8)	2
2	フロントカバー	1	7	④ナベ小ねじ(M5X10)	2
3	化粧ねじ	2	8	④トラスタッピンねじ(Φ4X10)	2
4	転倒防止金具上	1	9	木ねじ	2
5	転倒防止金具下	1	10	プラグ	2

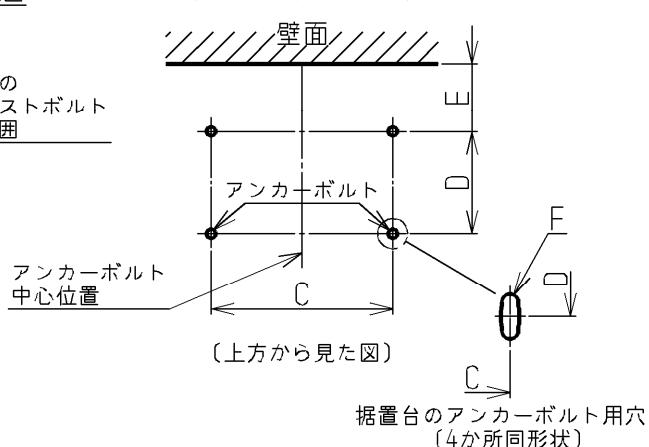
## 据置台設置位置 (単位:mm)

プラグ打込み位置図



アンカーボルト位置図

(据置台直付けの場合)



型式	A	B	C	D	E	F	G
WOP-F201(2)SS	1063	1052	415	121	62~189	11×30 長穴 ※	80
WOP-F201(2)SS-650	1263	1252					

※ 長穴の中央部はM12のボルトにも対応しています。



裏面へつづく ➔

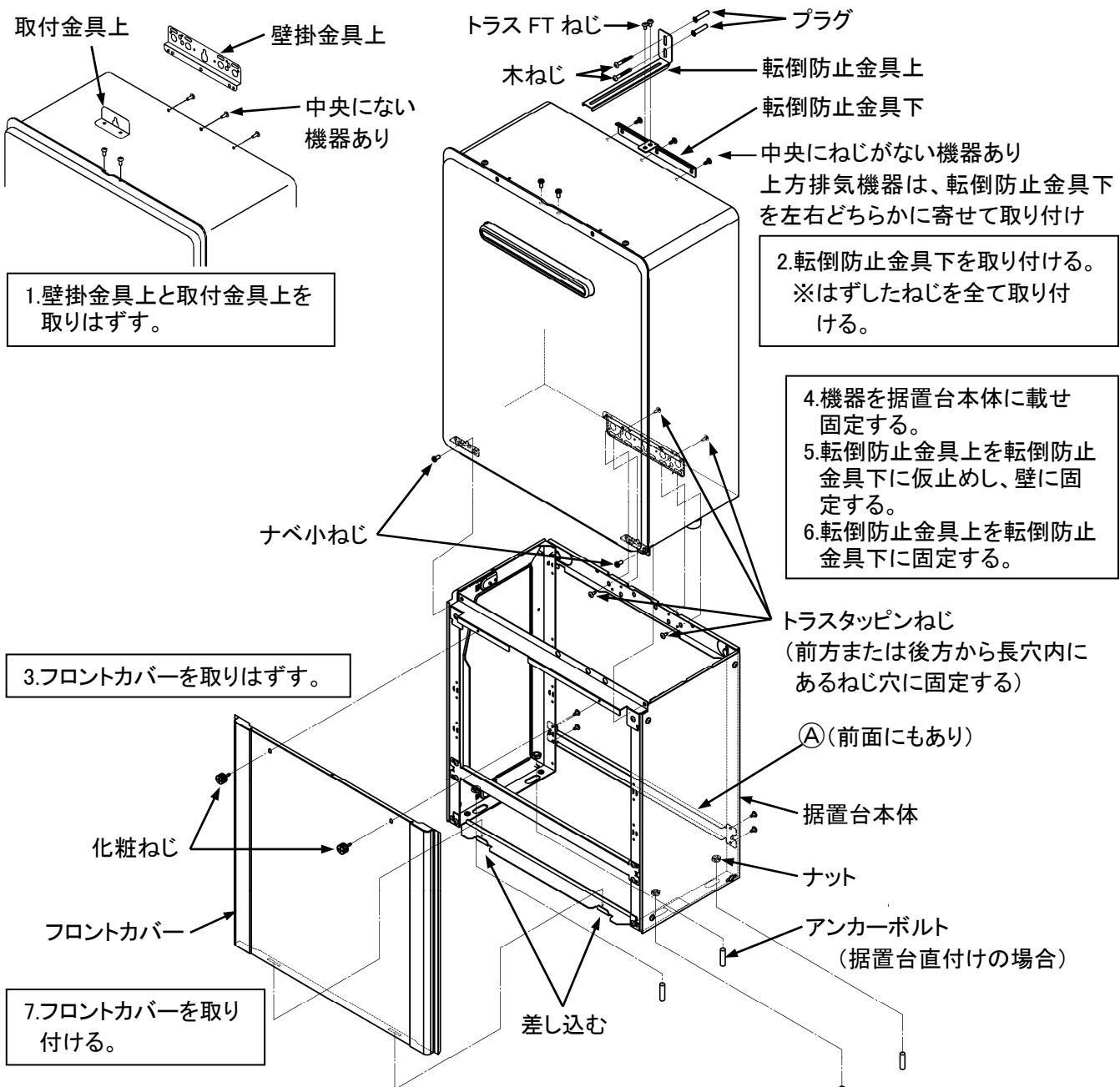
OPU32-1149(01)

A4R-Wh-BK(両)

## 取付方法

下図を参考に機器を据置台に設置し、転倒防止金具で壁面に固定してください。

1. 機器の壁掛金具上と取付金具上を取りはずす。(取付金具上が付いていない機器もあります)
2. 取りはずしたねじで下図を参照し転倒防止金具下を取り付ける。上方排気機器は、右または左側のねじを中心位置にして転倒防止金具下を取り付ける。※取りはずしたねじを全て取り付ける。
3. 据置台からフロントカバーを取りはずす。
4. 機器を据置台本体の上に載せ、ナベ小ねじとトラスタッピンねじで固定する。
5. 転倒防止金具上をトラスFTねじで転倒防止金具下に仮止めし、木ねじとプラグで転倒防止金具上を壁に固定する。(絶縁が必要な場合は、別売の転倒防止金具[WOP、ROP型式の場合:ROP-TBK1、138型式の場合:1235-R311-0900]を使用してください。)
6. 上記5.で仮止めしたトラスFTねじを締め付けて、転倒防止金具上を転倒防止金具下に固定する。
7. フロントカバーを据置台本体に差し込み、化粧ねじで取り付ける。



(注意) ●フロントカバーが確実に固定されていることを確認してください。化粧ねじがゆるんでいたり、下部差し込みがきちんとされていないと、強風時などにフロントカバーがはずれて風で飛ばされ、思わぬ事故の原因になります。

- 上図は取付方法の一例です。型式によっては部品形状やねじの本数などが多少異なるものもあります。
- 部品Ⓐ(前面にもあり)は、左右のねじを取りはずして上方へ付け換えることができます。
- アンカーボルト・ナットは現地調達してください。また、据置台をアンカーボルト直付けで固定する場合は、据置台のアジャストボルトは取りはずしてください。